



# 経済日誌

2024年9月15日～2024年10月14日の主な出来事(新聞記事等より)



## 9.18 大津町33%地価上昇 全国一

熊本県が17日に発表した2024年7月1日時点の基準地価は、大津町の地点の前年からの上昇率が、商業地と工業地のいずれでも、全国トップとなった。TSMCの半導体工場の菊陽町への立地が、周辺地域の地価を軒並み押し上げた。大津町室と大津町大津の商業地の上昇率が33.3%。同じく大津町室の工業地も33.3%だった。この3カ所が林地を除く全国2万1003地点の中で最も高い伸びを示した。大津町室の商業地は2年連続の全国一。

## 9.21 熊本-釜山線 定期便就航へ

韓国の格安航空会社(LCC)のイースター航空は熊本空港と韓国・釜山を結ぶ定期便を12月19日に就航する。熊本空港発着の釜山線が運航するのは初めて。毎日1往復する。現在、熊本空港の国際路線は台湾・台北線(週12往復)、香港線(週4往復)、韓国・ソウル線(週7往復)の三つとなっている。韓国のLCCのティーウェイ航空が運航するソウル線については、8月までの1年間の搭乗率が79.1%と高かった。

## 9.22 第3工場 熊本にチャンス

日本の内閣官房に当たる台湾国家発展委員会の劉鏡清主任委員は、TSMCの熊本進出について、「発展には自信を持っている」と指摘。第1、第2工場が菊陽町に立地する状況を踏まえ、第3工場の誘致も「チャンスは非常に大きい」との見方を示した。

## 10.4 最低賃金 10/5から952円へ

熊本県の最低賃金が54円増の時給952円になるのを前に、熊本労働局職員や熊本地方最低賃金審議会委員らが3日、熊本市西区のJR熊本駅で通勤客らに賃上げをPRした。最低賃金の54円増は、時給方式で示されるようになった2002年度以降で最大の引き上げ幅。熊本労働局の金成真一局長は「最低賃金の引き上げを労働者や企業に認識してもらい、助成金の周知などで賃上げの環境をつくっていく」と話した。

## 10.5 熊本市の税収 過去最高

熊本市が公表した2023年度決算概況によると、市税収入は前年度比2.1%増の1280億6850万円と過去最高になった。市税収入は、コロナの5類移行に伴う雇用回復の動きを背景に納税義務者数や所得金額が増加したことと個人市民税が増加。大型マンションの開発などによる固定資産税の増収も影響した。この結果、歳入は前年度比1.3%増の4136億1263万円となった。

## 10.7 県内倒産 3年連続増

東京経済熊本支社が7日発表した2024年度上半期(4～9月)の県内企業倒産件数(負債額1千万円以上)は41件で、前年同期に比べ2件増えた。増加は3年連続。負債総額は23.1%減の35億6300万円と2年連続の減少だった。負債額10億円以上の大型倒産は前年に続いてなかった。

## 10.11 熊本市・市職員、時差出勤 朝の交通量3%減

熊本市が10月11日、熊本市の主要交差点で時差出勤について、木村敬知事は10日、熊本市の主要交差点の調査結果の速報値を公表した。県は9月6日、渋滞発生ポイントとなっている熊本市の保田堂北交差点で車の交通量を調査。23年の同時期と比較したところ、午前6時台では4.0%増加した一方、午前8時台は3.0%減、午前7時半～8時半では1.8%減った。

以降は会員専用ページにて公開しております。  
ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより  
アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はこちらから](#)